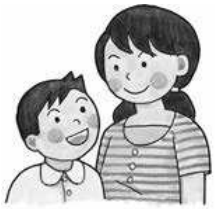

対象：幼児の保護者

こんな時、子どもに何と言う？

子どもが甘えたり頼みごとをしてきた時、「だめよ」と返していることはありませんか。
いつも否定の返事しか返ってこないと、しだいに甘えてこなくなるかもしれません。
こちらがちょっと言い方を換えるだけで、子どもが「うん、わかった」と納得できる魔法の言葉かけを考えてみましょう。

１．次のような時、あなたは子どもに「いいよ」と言うと思うものには〇、「だめよ」と言うと思うものには×、どちらか迷うものには△をつけましょう。

①　（　　）　食事前に「お菓子を食べてもいい？」

②　（　　）　買い物に行って「お菓子をあと一つだけ買ってもいい?」

③　（　　）　早く帰らないといけないのに「もう少しお友達と遊んでもいい？」

④　（　　）　疲れている時に「抱っこして!」

⑤　（　　）　同じようなおもちゃを持っているのに「このおもちゃ、買って!」

２．子どもが納得するような肯定的な言葉かけ「～ならいいよ」や、提案する「～はどう？」の言葉かけを考えてみましょう。

①　食事前に、「お菓子を食べてもいい？」
⇒　例）「一つだけならいいよ。」、「ご飯を食べた後に、まだ食べられそうなら食べる？」

②　早く帰らないといけない時に「〇〇ちゃんと遊ぶ約束したから、一緒に遊んでもいい?」
⇒　親「　　」

③　「このおもちゃ、〇〇ちゃんも持っているから買って!」（千円程度のおもちゃ）
⇒　親「　　」

☆ こんな時、みんなはなんて言うか聞いてみよう!　（返事に困る子どもからの頼みごと）
子ども「　　」
⇒　親「　　」